



銀杏《愛校 自主自律》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

長かった1学期・・・されど、次につながる充実した学期でした・・・

7月31日(水)、長かった学期でしたが、無事に一学期終業式を迎えることができました。あどけなかつた1年生はたくましくなり、2年生は3年生の意思をしっかりと受け継ごうとする姿を見せ、3年生は宮中の最上級生としての自覚と誇りをどんな場面でも示す集団に成長しています。その成長ぶりは著しく、うれしくもあり頼もしくもあります。明日から、待望の夏休みとなりますが、短い期間だからこそ、時間を有効に活用し、自分のあり方生き方に磨きをかける充実した毎日を過ごしてほしいと願っています。

また、下記のとおり、県中総体をはじめ吹奏楽地区コンクール等の各種大会が行われ、宮中健児の心意気を見せてくれました。特に、ソフトボール部は、**県中総体優勝**と、悲願を達成し、8月2日(金)・3日(土)に行われる東北大会に駒を進めました。さらに、ソフトテニス女子の3年半田さん、3年梅木さんも8月9日(金)に行われる東北大会で、更なる上のステージを目指します。

さらに、野球クラブ「ゲンキーズ」に所属する3年生4名が全国大会へ、卓球部の2年森山昂音さん、2年竹田美月さんが、県大会へそれぞれ出場権を獲得しました。自分の満足のいく試合を目指し、更なる活躍を期待しています。

＜県中総体・吹奏楽地区コンクール結果＞

- ❖ソフトボール **【県中総体優勝・東北大会進出】**
- ❖ソフトテニス女子個人 半田妃良莉・梅木咲紅詩ペア **【東北大会進出】**
- ❖バレーボール女子 **【惜敗】**
- ❖ソフトテニス男子個人 高野太喜・大滝 嵩ペア **【惜敗】**
- ❖ソフトテニス女子個人 佐藤凜音・田中結衣ペア **【惜敗】**
- ❖吹奏楽部「演奏曲：マードックからの最後の手紙」 **【優良賞】**
- ❖南陽西部バレーボールクラブ **【惜敗】**



熊野大社例大祭をしっかりと盛り上げました！

7月24日(水)、25日(木)の熊野大社例大祭。25日の子どもみこしは、残念ながら雷雨のため中止となってしまいましたが、前夜の万燈神輿渡御では、勇壮な振る舞いで地区内外の方々を活気づけてくれました。3年生を中心となる有志を束ねた頭(かしら)の3年高橋春華さん、3年尾形健吾さんの“しきり”、また、肩の痛みも乗り越えながら神輿に魂を吹き込んでくれた宮中生の姿は圧巻でした。これから、この地域の伝統をしっかりと受け継ぎ、後世に残していくことは、宮中生の大きな使命の一つです。きっと、このことを心のどこかに秘めながら取り組んでくれたと思います。

この例大祭への宮中生の参加にあたり、ご指導・ご支援くださった子どもみこし保存会の皆様、各地区頭取の皆様、宮神會の皆様、さらに関係の皆様に、心より御礼を申し上げます。

8月の主な予定

- 1日(木)：地区生徒会連絡協議会
(沖郷中)
- 2日(金)：ワトポール東北大会(相馬市)
～3日(土)
- 6日(火)：臨雲文庫学び舎講座
- 9日(金)：ワトポール東北大会(盛岡市)
- 13日(火)～15日(木)：学校閉庁期間
- 16日(金)：諸活動を行わない日
- 20日(火)：2学期始業式
：地区英語弁論大会
- 21日(水)：職員会議
- 22日(木)：2・3年実力テスト
：生徒会専門委員会
- 27日(火)：テスト前学習会
- 28日(水)：海洋キャリア教育セミナー
(2年:シェルターなんよう)
- 29日(木)：少年の主張(弁論)大会
：テスト前学習会
- 30日(金)：前期期末テスト

◆夏季休業：8月1日(木)～19日(月)
時間を有効に使うことを大事にしよう



先生方も、研修に励みました・・・！

24日(水)の午前中、本校職員で“心肺蘇生法伝達講習会”を行いました。倒れている人を見つけたら、AEDを適切に扱うには・・・、ということを中心に、実際に行動できるように訓練しました。先生方も、真剣でした！



【校長の独り言・・・】

七月三十日(火)に、東北大会並びに各種大会に参加する選手を激励する壮行式を行い、全校生一丸となって、新たなステージに挑む選手を激励しました。

そこで、どんなお話をしようかとぼんやり考えながら、パリオリンピックの柔道競技をテレビで見始めました。ちょうど、女子56級で金メダルを目指す阿部詩“選手の二回戦でした。ケガを乗り越えながら、兄、一二三選手と共に試練を乗り越えてきた選手です。前半は、有利に試合を進め、このまま行くかと思つた瞬間、あつという間に一本取られてしまいました。試合後も、コーチに抱えられながら号泣する姿に、熱いものがこみ上げてきました。すると、観客席から誰からもなく、「ウーター！ウーター！」と大コールと大きな拍手が沸き上がり、それこそ「我夢謝楽」に戦ってきた姿を称える光景に、ますます感動してしまいました。そこで、頭に浮かんだのが、「鍛錬千日勝負一瞬」という言葉です。これは、高校野球の名将、蔦(つた)監督の言葉ですが、「練習の時間に限りはないが、勝負は一度だけ。どれだけ力があっても、その一瞬にベストを尽くさなければならぬ。」との意味が込められています。その精神を、宮中生全員で心に刻みたいと強く感じました。